

# 日本橋梁メンテナンス協会 技術講習会・総会

## 「技術選定、明るいニュース」

### 好評技術冊子 HPで閲覧可能

日本橋梁メンテナンス協会(会長 阿部忠日本大学名誉教授)は、技術講習会ならびに総会を6月29日に日大生産工学部(水戸一前会長が開発した)で開いた。協会では現在11の工法を定評のあるEQM工法、埋設型ジョイントで支持を得る荷重分散型ジョイント(NETIS:QS-2000 45-A)▽MMジョイント、③ジョイントと前後の床版劣化部を同時に対策するEQM-J工法(QS-180019-A)▽EQM-J工法、④ジョイント遊間部の止水▽SMジョイント(QS-180049-A)、⑤ボックスカルバートの補強▽EQM-GK工法(QS-150039-A)など、これらに新しい工法を併せていく。協会では現在11の工法を定評のあるEQM工法、埋設型ジョイントで支持を得る荷重分散型ジョイント(NETIS:QS-2000 45-A)▽MMジョイント、③ジョイントと前後の床版劣化部を同時に対策するEQM-J工法(QS-180019-A)▽EQM-J工法、④ジョイント遊間部の止水▽SMジョイント(QS-180049-A)、⑤ボックスカルバートの補強▽EQM-GK工法(QS-150039-A)など、これらに新しい工法を併せていく。協会では現在11の工法を定評のあるEQM工法、埋設型ジョイントで支持を得る荷重分散型ジョイント(NETIS:QS-2000 45-A)▽MMジョイント、③ジョイントと前後の床版劣化部を同時に対策するEQM-J工法(QS-180019-A)▽EQM-J工法、④ジョイント遊間部の止水▽SMジョイント(QS-180049-A)、⑤ボックスカルバートの補強▽EQM-GK工法(QS-150039-A)など、これらに新しい工法を併せていく。



- 技術講習会プログラム
1. 「各種補修補強製品のご紹介 リフレモルセットSF リフレモルセットSP 床版用 フィルコンS スーパー ジェットパック」 住友大阪セメント 岡村達也氏
  2. 「2種類の接着剤とEQM工法」 鹿島道路 児玉孝喜氏
  3. 「グリッドメタル筋(格子鋼板筋)を使ったRC構造物の補修・補強工法」 JFEシニール 吉岡泰邦氏
  4. 「「展張格子筋を用いたボックスカルバートの補強技術について」 東栄コンクリート工業 新田裕之氏
  5. 「定着体付き鉄筋継手を用いたプレキャストRC床版TAKUMINO床版工法」 小野工業所 重松伸也氏
  6. 「荷重分布型伸縮装置およびMM-DS型ジョイントの施工技術」 協会長 阿部忠氏
  7. 「SMジョイントゴム劣化取替工法」について 協会技術委員長 板垣正幸氏

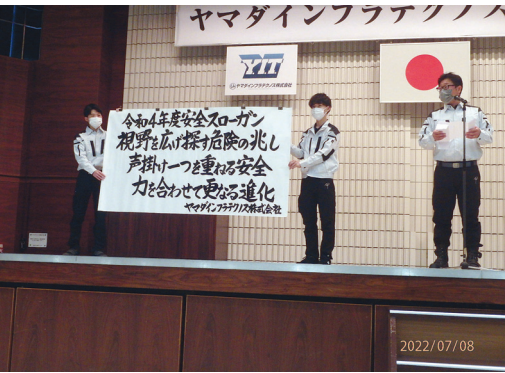
冒頭、阿部会長は「深き技術講習会」について、国交省の橋梁伸縮装置止水部の補修に関する技術にも選定された。協会では現在11の工法を定評のあるEQM工法、埋設型ジョイントで支持を得る荷重分散型ジョイント(NETIS:QS-2000 45-A)▽MMジョイント、③ジョイントと前後の床版劣化部を同時に対策するEQM-J工法(QS-180019-A)▽EQM-J工法、④ジョイント遊間部の止水▽SMジョイント(QS-180049-A)、⑤ボックスカルバートの補強▽EQM-GK工法(QS-150039-A)など、これらに新しい工法を併せていく。協会では現在11の工法を定評のあるEQM工法、埋設型ジョイントで支持を得る荷重分散型ジョイント(NETIS:QS-2000 45-A)▽MMジョイント、③ジョイントと前後の床版劣化部を同時に対策するEQM-J工法(QS-180019-A)▽EQM-J工法、④ジョイント遊間部の止水▽SMジョイント(QS-180049-A)、⑤ボックスカルバートの補強▽EQM-GK工法(QS-150039-A)など、これらに新しい工法を併せていく。

EQM工法は、RC床版の補修・補強工法で、補修時のブリーカー研りで不可避に入る微細なひび割れも浸透性KSプライマーでふさいだ後に、既設床版と補修材の界面の付着力を高めるKSボンドを塗布後、補修材のリフレモルセットを打ち込み、舗装を敷設するもの。土砂化による劣化に悩んでいた現場から、施工後の経過が良いと定評がある工法だ。協会の埋設型ジョイントの工法にも、EQM技術(KSプライマー、KSボンド、リフレモルセット)を取り入れることで、ジョイント周辺の床版劣化対策としている。ジョイント交換の不陸修正が40mm以上の場合、これにグリッドメタル筋(鋼板をレーザーで格子状に加工した引張補強筋)を配置し、鉄筋量不足を補つのがEQM-J-G工法。協会の基幹工法である埋設型ジョイント・MMジョイントDS型は、独自開発の合材の特性で、耐震性に優れた埋設ジョイントに仕上げ、熊本地震でも影響を受けなかった実績がある。合材はバイナリー有機繊維を配合し、これに専用骨材を組み合わせた弾性体。そして今春国交省の橋梁伸縮装置止水部の補修に関する技術にも選定された。また実績も伸びているSMジョイントは、安価で高性能。施工も簡単。圧倒的なコストパフォーマンスを追求し、突合せジョイントなど、

## 安全大会 3年ぶり開催

### ヤマダインプラテクノス 「業界の持続的発展を期待」

「ごみを減らす循環式」によるヤマダインプラテクノス(兵庫県)の普及を促した安全大会(持続可能な開発目標)への寄与で知られ、市立労働センター(愛知)で開かれ、3年ぶりの開催となった。



冒頭、協会の山田博文会長(ヤマダインプラテクノス社長)が「昨今の混沌とした社会情勢に負けず、建設業界の持続的発展を期待している」と挨拶した。また特別講演ではプロレーシングドライバーの古賀琢麻選手による「レーシングドライバーから新しい循環式プラスチック(旧名「循環式エコックリンプラスチック」)の普及に注力している。近年は、この塗替えの際のプラスチックを活用して、シヨットピーニングの1工程をプラスチックで、鋼の疲労耐久性を高めるエコクリーンハイブリッド工法も岐阜大と共同開発し、塗替え時に腐食予防と疲労劣化予防が同時にできるとして、

新しい作業服のお披露目、令和4年度安全スローガン「視野を広げ危険の兆し、声掛け一つを重ねる安全、力を合わせて進化する進化」の共有、牛若プロの報告

見た交通安全についての講演があった。同社は橋梁塗替え時のプラスチック処理に際して、金属系研削材を循環して再利用することで、塗替えごみの発生量を減らし、環境とコストにやさしい循環式プラスチック工法(旧名「循環式エコックリンプラスチック」)の普及に注力している。近年は、この塗替えの際のプラスチックを活用して、シヨットピーニングの1工程をプラスチックで、鋼の疲労耐久性を高めるエコクリーンハイブリッド工法も岐阜大と共同開発し、塗替え時に腐食予防と疲労劣化予防が同時にできるとして、

全優良工事などの表彰も行ったほか、同社が中心的に取り組む牛若プロジェクトの報告もあった。

また、牛若プロジェクトとは、インフラ再生事業・長寿命化に一般の人からの理解を深めてもらうと、ヒューマンドキュメンタリータッチの現場紹介番組の放送を通して、インフラが抱える課題や、長寿命化の意義を伝える取り組み。2021年春に初弾の放送を実施し、視聴者の好評を得て、第2弾を今春に放送、現在、来春の第3弾を準備中だ。

## つなぐ

### 正念場

国土強靱化に尽力した安倍晋三元首相が凶弾に倒れて2週間経つ。まずは故人の冥福を祈る。個人的な所感としては政治的信念、プラスチックを活用して、シヨットピーニングの1工程をプラスチックで、鋼の疲労耐久性を高めるエコクリーンハイブリッド工法も岐阜大と共同開発し、塗替え時に腐食予防と疲労劣化予防が同時にできるとして、

2026年度以降を見据え、国民一人ひとりにインフラの強靱化を実感してもらうことが重要だ。宮城県内で15日に発生した大雨災害では、名蓋川の堤防が決壊し氾濫した。7年で3度目の氾濫。堤防補修工事を控えていただけに地元は落胆は大きい。このようなことがないよう対策の加速に団結して臨みたい。(由)

2017年度分(17298件) 2019年度分(18717件) 2018年度分(17298件) 2020年度分(19834件)

★貴社の周年特別紙面を橋梁新聞に掲載しませんか★

# 周年特別紙面!!!

会社、協会や研究会などの設立から5年、10年・100年、節目の年に、「これまでのあゆみ、そしてこれから」を橋梁業界や株主の皆さまにお届けする特別紙面を掲載されてはいかがでしょうか

**特別キャンペーン**

1頁広告入り 196,000円(税込カラー)など

まずはお気軽にお見積りを [info@kyoryoshimbun.co.jp](mailto:info@kyoryoshimbun.co.jp)

株式会社 橋梁新聞社 〒110-0015 東京都台東区東上野 6-16-9 織田屋ビル 6F-B  
TEL 03(5811)1781 FAX 03(5811)1782

メンテナンス年間作業時間(導入企業A社 実例)

# 10000分の削減に成功!!

方法は簡単、弊社ナットに置き換えるだけ!!  
ルーティンワークと常識疑ってみませんか?

- 製品、建造物、機械の腐食、サビ、劣化
- メンテナンス頻度が多い製品へあらかじめ導入 工程簡略化 作業時間短縮

取り付け、取り外し **最短5秒**

高強度!!  
フジクイックナット (Mタイプ)

無料貸出キャンペーン中!!  
詳細は今すぐ検索  
フジクイックナット 検索

◎日本工業規格表示認証工場  
株式会社 富士製作所  
〒578-0984 大阪府東淀川区目黒4番28号  
TEL072(964)2270 FAX072(964)0371  
URL <http://www.fujiseisakusho.com>  
E-mail [fujii@fujiseisakusho.com](mailto:fujii@fujiseisakusho.com)